

きいて!みて!TRY!
5月~12月

TRY 令和8年度「福祉就職フェア」

参加費無料

福井県福祉人材センター、福井県福祉人材バンク無料職業紹介所では、福祉施設等の魅力や採用の情報を直接、施設の求人担当者より取り取りが「福祉就職フェア」を開催します。

福祉の仕事に就きたいと考えている方、福祉の仕事に興味はあるけど、まずは福祉の仕事の内容を知りたい方、福祉の仕事に興味のある方ならどなたでも、参加自由(無料)です。皆様のご来場をお待ちしております。

◎福井会場「ふくい福祉就職フェア」
【日時】令和8年6月13日(土)13:00~15:10
【会場】敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」(敦賀市東洋町4-1)1階あいあいホール

◎福井会場「ふくい福祉・保育就職フェア」
【日時】令和8年6月27日(土)13:30~15:30
【会場】フェニックス・プラザ(福井市田原1丁目13-6)1階大ホール(無料駐車場はございません。)

◎参加予定事業所
福井県内で社会福祉施設(事業所)を運営している法人等
福井県会場15事業所(予定) / 福井会場80事業所(予定)

TRY 令和8年度助成事業のご案内

ただいま募集中!

◎まごころ基金助成事業
県内の地域福祉の推進を目的に、民間のボランティア団体等が実施する自発的な事業活動に対し助成を通じた支援を行います。

【助成額】1団体につき20万円以内
【申込締切】5月29日(金)(当日消印有効)

◎子ども未来支援事業(子ども食堂等への助成)
様々な事情により欠食や孤食などの状況にある子どもたちが食事をしたり、宿題をしたり、遊んだり、他の子どもや地域の人々と交流する場である「子ども食堂」の開設等にかかる経費の一部を助成することで、子どもたちが安心して過ごせる地域の居場所づくりの推進を図ります。令和8年度から、特別な配慮を要する子どもが参加できる環境の整備、既存の取組みの「拡充」に必要な経費等についての助成も行います。

【助成額】1団体につき20万円以内
令和8年10月30日まで随時選考しております。(当日消印有効)
※詳しくは、ホームページをご覧ください、各要綱・申請様式等をダウンロードしてください。

TRY ふくい健康長寿祭2026

スポーツ・文化交流大会、生きがい・健康づくりイベントを通して、シニアの元気促進や他世代交流を目的にふくい健康長寿祭2026を開催します。

今年、より多くの皆様にお越しいただけるよう、例年開催している「スポーツ・文化交流大会」と昨年同様開催している「シニア応援文化祭」を別日に開催いたします。ぜひお気軽にご来場ください。

◎スポーツ・文化交流大会
【日時】令和8年10月4日(日)
【会場】主に福井市内の各会場(ふくい健康の森ほか)

◎シニア応援文化祭
【日時】令和8年12月5日(土)
【会場】福井市にぎわい交流施設 ハビテラス
※今後、ステージ発表を希望されるシニアグループを募集いたします。詳細については次号でご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。

きいて 高齢者に関わる相談窓口のご案内

相談無料

高齢者専門相談窓口
法律や年金、税金、認知症・介護についての高齢者の方の悩みごとの相談に応じています。

専門相談内容	相談員	実施曜日	時間
法律	弁護士 井藤士	第1・3・4水曜日	午後1時~午後4時
		第3木曜日	要予約(1人30分)
認知症・介護	認知症介護経験者	第2火曜日	午後1時~午後4時
税金	税理士	第2水曜日	午後1時~午後4時
年金	社会保険労務士	第4水曜日	午後1時~午後4時

高齢者権利擁護専門相談
地域における高齢者の権利擁護に関わることに、適切な対応を支援するため、専門相談員が対応します。

専門相談内容	相談員	実施曜日	時間
権利擁護	社会福祉士 第4火曜のみ弁護士同席	第2・4火曜日	午後1時~午後4時 要予約

《窓口連絡先》※秘密は、固く守られます。お気軽にご相談ください。
福井県社会福祉協議会 地域福祉課
Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041
Eメール sukoyaka@f-shakyo.or.jp

活動レポート

民謡が結ぶ、地域の元気と笑顔

さかい民謡クラブ(坂井市)

坂井市坂井町東十郷地区と木部地区の民謡団体が合併して12年以上、60~80代の6名で活動しています。坂井町大関地区のコミュニティセンターで月3回、内2回は講師と練習をしています。市内外のサービス施設で利用者の方々や触れ合ったり、大関まつり、さかい夏祭りでの民謡披露で皆さん喜んでもらえることが何よりの喜びです。今後も地域に笑顔を届けられるよう活動を続けていきます。

「推し活」

はじめました

「シニアの新しい楽しみ方」

近年、ひいきにしている人や物を指す「推し」という言葉が注目を集めています。推しを様々な形で応援する。若者からシニアまで幅広い世代が推し活に熱中する姿もよく見られます。そこで今回は、福井ゆかりの「推し」を全力応援する3人の方たちに推し活を始めたきっかけや推し活の魅力、推し活で生まれた変化などについて語っていただきました。

推し活 = 推しを応援するすべての行動

ライブや試合を見に行く
グッズを集める
押しが出演するTV番組を見る

推し活とは、自分が好きで応援したい「推し」に時間やお金を費やして積極的に応援すること。アイドルやキャラクター、スポーツ選手、食品、地域など幅広い対象に使われています。

「人の喜び顔が見たい」と地元芸人たちがサポート。

笑福亭笑生さん推し 松田 輝美さん

「私が「笑生推し」なんじゃなくて笑生が「私推し」なんですよ」と笑う松田さん。大野市で菓子店を営む松田さんは、落語家の笑福亭笑生さんがコンビのお笑い芸人だった頃から応援し続け、BSよしもとのYouTubeに出演したこともある。お母さん「お母さん、笑生さんが結婚する際はお金のことを願っています」と話してくれました。

「元々お笑い好きで、人を喜ばせるのが好きな性格だ」と松田さんは、まだ名前が知られていない芸人たちの応援したいと地元・大野市でのお笑いライブを企画。芸人も運営側も見に来た人も、みんなが潤うような仕組みを考えながらサポートを続けています。「もちろんダメ出しもしますが(笑)。笑うことは健康にも良いので、みんなにはもっと腕を磨いてもらって多くの笑いを届けてほしいですね。笑生も早く芽が出て、愛される囃子になることを願っています」と話してくれました。

現役プレイヤーとしても福井のバスケットを応援。

福井のバスケットを応援。家族全員バスケットファンで、B1の試合を観に県外まで足を運ぶこともあるという笠松さん。自身も40代のマスターズ大会出場も皮切りに60代になった今でもチームに所属し、週2回の練習で汗を流しています。「プロウイングが勝つ日は、家族で夕食を食べながら試合を再視聴するが恒例。プレイはもちろん戦術も気になって、色々な見方で楽しんでいます。」

福井のバスケットの盛り上がりについても「ホーム戦に毎回4,000人以上が集まる熱量はすごい!今後はもっとファンサービスにも力を入れて、愛されるチームになってほしいですね。来期の選手補強にも注目している」と「推し」のバスケットを語ってくれました。

花と緑で癒される地域づくりを目指して

蝸牛(ゆり)の里くらぶ(高浜町)

昔の地区名、蝸牛村(ゆりむら)にちなんで平成26年に「蝸牛の里くらぶ」としてスタートしました。休耕地や休耕地を活用した景観の花やハーブの栽培、野菜作り、草刈りなどを通して、故郷を荒廃から守り、地区の景観保全につとめる活動を行っています。男性8名、女性3名の会員と地区以外の賛助会員の協力も得て、夏場の暑さと闘いながらも楽しみながら頑張っています。この地域をもっともっと花と緑で癒されるような地域にしていきたいと思っています。

「推し活」

はじめました

「シニアの新しい楽しみ方」

「推し」という言葉が注目を集めています。推しを様々な形で応援する。若者からシニアまで幅広い世代が推し活に熱中する姿もよく見られます。そこで今回は、福井ゆかりの「推し」を全力応援する3人の方たちに推し活を始めたきっかけや推し活の魅力、推し活で生まれた変化などについて語っていただきました。

大好きな孫と選手の応援が毎日を楽しむ原動力!

福井プロウイングス推し 山岸 喜代さん

お孫さんが「プロウイングスダンサーズ」の一員として活躍している山岸さん。自身も中学時代バスケット部だったこともあり、お孫さんの応援を兼ねて足を運んだ福井プロウイングスの試合で、その楽しさにすっかり魅了されてしまったと言います。

「試合中は選手の応援、ハーフタイムは孫の応援で席を離れる暇がありません」と笑う山岸さん。毎週土曜日は30年以上続けるスイミングに通い、日曜日にホームゲームがある時はほぼ毎週体育館に足を運ぶという「推し活」ぶりは、85歳という年齢から想像できないアクティブさ!「週末は楽しいことしかない」と目を輝かせます。

福井プロウイングスでは、特に細谷選手が「推し」だという山岸さん。応援グッズやアルバムに並ぶ写真の数からも推しへの愛と情熱が伝わってきました。

細谷選手と対面した時は「ポーズとなり一言話すが精一杯!だったそう(2024-25シーズン セーレン・ドリムアリーナにて)

「推し活」は自分だけでなく周りも元気に

「プロダクティブエイジング」という考え方を存じずか? 簡潔に言えば、誰かに力をわけることが健康や幸福感を高めるということの意味です。ボランティアや地域の担い手として活動することが代表的な例としてあげられますが、「自分の「楽しむ」を周囲の誰かにわけるのもその一つといえます。」

例えば高校生たちがお手伝いする、「スマートフォンなんでも相談窓口」に現れたひとり暮らしの80代男性Aさん。困りごとが解決した後も、お菓子を差し入れたり、近所で困っている人を連れてきたり、なくてはならない存在になっていきました。(高校生たち)頑張っているし、オレが行かないとダメなんだよ」がAさんの口癖。これって、応援したいという想いの「推し活」であり、できることをわけるプロダクティブな行動とも言えますよ。

今回、紹介されている推し活も同じことがいえるのではないのでしょうか。地元の芸人さんでもスポーツチームでも、応援することが自身だけではなく、相手も地域も元気にしているとしたら、あなたは誰を推していますか?

東海大学 健康学部 健康マネジメント学科 教授 澤岡 詩野氏

あなたの「推し活」を教えてください!

人、キャラクター、スポーツ、ペット、家族など、ジャンルは問いません。日々の暮らしに元気をくれる「推し」への想い、お待ちしております。お寄せいただいた内容は、次号の福悠人(7月8日発行予定)で紹介させていただきます。

※ニックネームでの掲載も可能です。※すべての内容を掲載することができない可能性がありますのでご了承ください。

こちらからご投稿ください!